

2025年度 図書館ミニガイドンス動画

1. 学術調査・文献の基本

(キーワードの考え方、本の読み方、知識のつけ方)



1-0. ありがちな質問

➤ 必要な本が分からない

例) 認知心理学についてのレポートを書きなさいという課題が出た
→ OPAC蔵書検索の結果は595件！
大量に出てくる検索結果の、いったいどの本を読めばいい…？

➤ 難解な本をどうやって読んだらいい？

例) カント『純粹理性批判』の読書会を、ゼミで開催するといわれた
→ とりあえず本を借りたけど…訳が分からない！
どうしたらいいんだろう？

…という疑問に対し、少しだけ答えてみようと思います

1-1. 「入口」となる本の見つけ方

➤ 授業・シラバスで紹介された文献を読もう

シラバスで紹介された図書を探し、まずは一冊読んでみましょう。講義の内容を踏まえるとスツと入ってきます。

→わからないときは…より広いキーワードで本を探しましょう

例)判断力批判入門<カント入門<西洋哲学入門

➤ 文庫・新書、放送大学教材であたってみよう

困ったときは放送大学教材も便利！開講されている講義ごとに教科書が用意されています

→放送大学教科書は「中央図書館2階」放送大学コーナーへ
もちろん、文庫・新書も短く端的なので便利

→文庫・新書は中央館および西図書館2階にそれぞれ排架
(ただし、すべての文庫・親書が易しいと思うのは畏)

1-2. 読書量の目安

➤ 関連する図書・論文を10冊は読もう

「〇〇入門」と称された短い本や、自分が知りたいテーマについて書かれた論文を10冊(本)読んでみよう。まずはたくさん読む。

→そのうえで、「〇〇」という学問の主要論点を見つけよう

先行研究が扱っている先行研究を読むのも◎ (芋づる式といいます)

「〇〇」に関する本を10冊読んだけど、大体みんな「△△」について語っていて、そして「××」を問題意識にしている…のようなことを、メモを取りつつ整理する

➤ 全部を読む必要はない

10冊全部読むのは大変…なので、効率よく読みましょう！

細かく詳しく読むことは大事だけど、まずは乱読しながら、先行研究のマッピングを作ることを優先(難しい本の場合は特に大事)

でもどうしたら…は次のスライドへ

1-3. 効率よく内容を知る

➤ 図書：最初と最後を読む

500ページ以上の本を、事前知識なく頭から読むのは難しい！

→最初と最後に提示される主題をチェックしよう(点検読書)

→邦訳本の場合…「訳者解説」を確認しよう

これらは多くの場合、最初に「〇〇について論じる」という主張がなされます。そこを確認する！(パラグラフ・リーディングと言います)

➤ 論文：要旨を読む

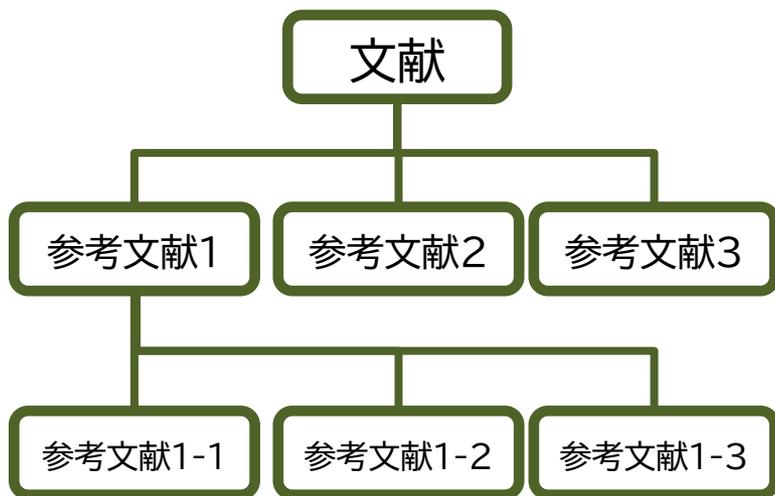
学術論文はほぼ確実に、その内容を簡単にまとめた要旨(abstract)が用意されています！

要旨がない場合は…図書と同じく「最初と最後」に注目しましょう！

読解力は一日にしてならず、日々の蓄積が最終的な成果になります！

1-4. 情報検索の方法

参考文献から探す



キーワードで探す



データベースや
レファレンスブックを使う

1-4. 情報検索の方法:イモヅル式

イモヅル法

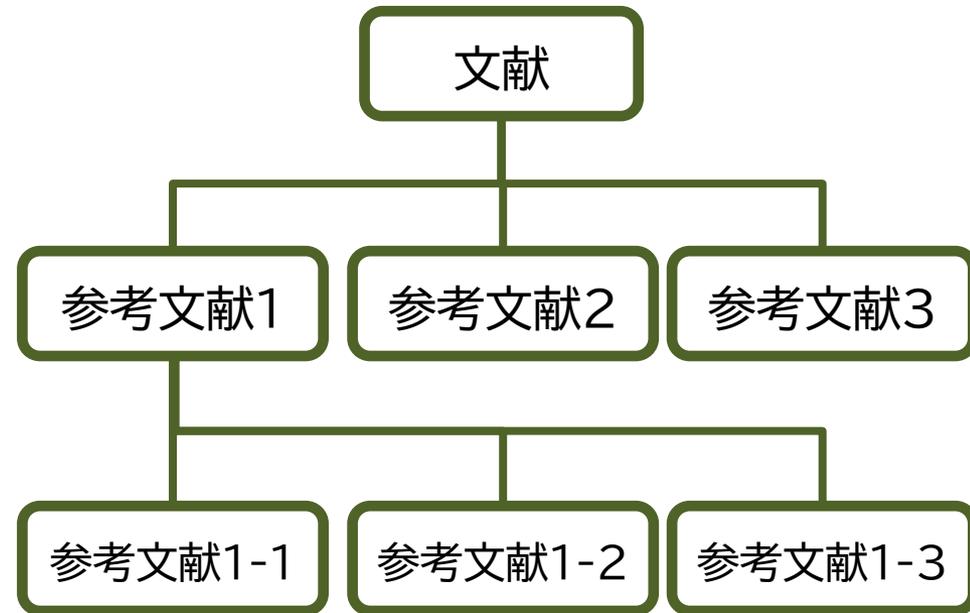
これだ!という文献



参考文献をチェック
気になる文献を読む



さらにその参考文献を
チェック



→その文献に関連の高い文献が探せる

→ただし、最初の文献より**古い**文献のみ

1-4. 情報検索の方法: キーワード検索

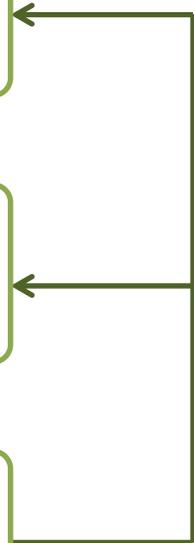
①探したいテーマ・トピックの決定



②テーマ・トピックに関する基本情報・用語の確認



③文献の検索・入手



- 古い文献から**最新の研究成果**まで探せる
→適切な分野、収録範囲のデータベースを選択する
- どのような検索キーワードで検索するかがポイント
→検索結果が多すぎると効率的に探せないことも…

1-5. 情報源の種類



論文(e-ジャーナル)

- ・速報性に優れる
- ・査読による信頼性がある



会議発表論文

- ・速報性に最も優れる
- ・入手がやや難しい場合も



図書

- ・総合的な記述となる
- ・ペースはやや遅め



辞書・百科事典

- ・端的に情報を収集できる
- ・詳しく検索はできない

1-5. 情報源の種類

論文

(e-ジャーナル)



- 絞り込んだテーマの研究成果
- 学術研究の分野では最も重要な情報源
- 学術雑誌に掲載される
- 速報性にすぐれる
- 査読者による査読制度がある

会議速報論文

(レポート類)



- 会議、学会の発表内容(+美術展レビュー等)
- 最新の成果、速報性にすぐれる
- あまり流通していないため、入手が難しい
- 会議発表論文を再構成して、雑誌論文に投稿することも

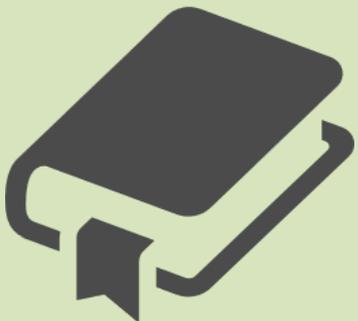
1-5. 情報源の種類

図書



- あるテーマの研究成果をまとめたもの
- ある程度の分量があり、深く、総合的な論述
- 速報性は劣る
- テキストやハンドブック類の出版も多い

辞書・百科事典



- 特定のトピックを体系的に整理したもの
- キーワードについてすぐに調べられる
- ただし、記述は端的
- キーワードの階層関係を知っておくと便利

読書論・執筆論を読もう

➤ 勉強論

千葉雅也『勉強の哲学: 来たるべきバカのために』

<https://opac.lib.hiroshima-u.ac.jp/webopac/BB03249866> (西)

外山滋比古『思考の整理学』

<https://opac.lib.hiroshima-u.ac.jp/webopac/BB01856970> (西・霞・東千田)

➤ 読書論

アードラー『本を読む本』

<https://opac.lib.hiroshima-u.ac.jp/webopac/BB00524528> (西・東千田)

外山滋比古『乱読のセレンディピティ: 思いがけないことを発見するための読書術』

<https://opac.lib.hiroshima-u.ac.jp/webopac/BB02691249> (中央・東千田)

➤ 執筆論

阿部幸大『まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書』

<https://opac.lib.hiroshima-u.ac.jp/webopac/BB04046130> (西)

本多勝一『日本語の作文技術』

<https://opac.lib.hiroshima-u.ac.jp/webopac/BB03066768> (西)



こちらから！



図書館ガイダンス動画 視聴アンケート募集中！

利用者教育のさらなる向上に
ご協力をお願いします。

制作・著作
広島大学図書館